



## 年頭のごあいさつ

二本松市長 新野 洋

新年おめでとうございます。  
市民の皆様には輝かしい新年を健やかに迎えのことに  
お慶びを申し上げます。

昨年は、二本松市合併十周年そしてデステイネーション  
キャンペーン本番の年でした。

記念事業として、郷土料理であるぎくぎくのプロモーションビデオの作成と「ぎくぎく料理の世界選手権」の開催、市内の主要な四つの祭りを一堂に集めた「二本松！お祭り三昧！大集合！」の開催、二本松城跡でのLED電飾に輝く「夢の一夜城」の建設、四百三十年の時を超えた会津みすらず柿の里帰り事業、そして中村雁次郎襲名披露の歌舞伎公演、統一文化祭や統一産業祭の開催、水道水ベトポトル「あだたらの名水」の作製などを行いました。

昨年結成した「現代版二本松少年隊」は、殺陣等の演技力が上達し、各種イベントに引っ張りだこの活躍で、菊むすめと共に総理官邸への表敬訪問を果たしました。

おかげさまで、四月から六月までのデステイネーションキャンペーン本番の観光客入込数は、昨年対比二十四%増となり、県内自治体の中でトップの結果となりました。

この間、各種団体そして市民の皆様からお寄せいただいたご支援ご協力が心から感謝申し上げます。そして二本松全体が同じ方向に向かって動きだしているような、そんな嬉しい感触を得ることができました。

人口減少対策では「mamaになるならにほんまつ」をキャッチフレーズに、子育て支援、教育支援などを積極的かつ総合的に支援する事業を展開し、商工業の振興施策では、店舗等の改装・改修費などに対する補助金を多くの事業者の皆様を活用していただきました。

またハード面の整備では、二本松地区にあった二つの保育所を統合した「にほんまつ保育園」の開園、市役所北側を通る「向原・上竹線」の全線開通、岩代と東和の給食セン

ターを統合する「二本松東部給食センター」の建設着工、二十五mプールと幼児用プール・流水プールを備えた「屋内温水プール」の建設着工、本年一月二十三日には安達新駅舎と東西自由通路の供用開始が予定されています。

放射線対策としては、住宅除染がほぼ終了し、ホールボデイカウンターによる内部被ばく検査とガラスバッチによる外部被ばく検査では、共に問題のある事案はありませんでした。そして米の全量検査でも問題はなく、食品全体を見ても安心できる状況となっております。

合併後十年間の長期総合計画が二十七年度をもって完了するため、二十八年度からの新たな計画として「二本松を元気に！新五カ年プラン」を策定しました。この十年間の総合的な施策の方向性を継承しつつ、限られた財政状況の中にはありますが、五年間のうちに優先的に解決していくべき施策については「選択と集中」を持って、より効果の高い事業を推進してまいります。

特に、「子育て支援や定住支援による人口減少対策」、「産業・観光の振興による地域の均衡ある発展」、「生涯スポーツと健康づくりの推進による健康寿命の延伸」の三つを重点事項として取り組んでまいります。

国が掲げる地方創生の波に乗り、地方版総合戦略を描き、商業、工業、農業、観光などの全てにおいて、新しい方向性を見出していかなければならない五年間となります。

さらに二本松市の地方創生アドバイザーとして、丹羽家第十八代当主丹羽長聰様とセブン銀行会長の安齋隆様を委嘱させていただきました。お二人の力をお借りしながら、市民の皆様と一丸となって更なる元氣な二本松づくりに取り組んでまいります。

結びに、市民の皆様様の御健勝とご多幸を心よりお祈りし、年頭の挨拶といたします。





## 新年のごあいさつ

二本松市議会議員

野地 久夫

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、清々しい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日頃より市議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年八月に議長に就任以来、市政の推進と円滑な議会運営に力を注いで参りましたが、この間、市民の皆様方からお寄せ頂きました温かいご指導やご厚情に対しまして、深く感謝申し上げます。

平成二十三年三月の東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故から四年九カ月余りが経過いたしました。

本市におきましては、原発事故後、除染実施計画や復興計画を策定し、それらに基づき、市民の皆様と一体となつて、放射能の除染や健康管理対策、安全な農産物の生産、風評被害の払拭などに全力で取り組んできたところではありますが、一日も早く元の安全に、そして安心して暮らせる生活環境を取り戻すため、行政と議会がその役割を十分に果たし、復興の推進を図って参りたいと思っております。

また、近年、地球規模での自然環境の変化により、想像を絶するような大型台風や豪雪が全国的に多発しており、本市においても局所的な集中豪雨や大雪により市民生活に多大な被害と影響が生じているところがあります。自然災害は、「いつ起こるか分からない時代」から「いつでも起こる時代」に移って参りました。市民の命と暮らしを守ることが一番大切なことですので、市議会といたしまし

ても、市当局と連携しながら、自然災害発生時の対応に当たって参りたいと考えております。

さて、昨年は、国においては、安全保障関連法案の成立やTPP交渉の大筋合意など、国の将来に関わる様々な政治的出来事がありました。また、本市においては、合併十周年の記念すべき年を迎え、デスティネーションキャンペーンとあいまって、様々な行事や催しが開催され、東日本大震災・原発事故からの復興に向け、大いに元気を発信できた年であったと思っております。

本市では、昨年十二月に、今後五年間の市政運営の指針となる新たな総合計画を策定いたしました。人口減少対策や各種産業の振興・発展、高齢者の生きがい対策など、市民の行政ニーズを的確にとらえ、元気と活力のあるまちづくりの全力で取り組んで頂きたいと念願するものであります。

私ども二本松市議会といたしましても、議会の果たすべき役割と責任を自覚し、市政の伸展と市民の幸せ実現のため、議員一丸となって取り組んで参る所存でありますので、引き続き、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新春を迎え、市民の皆様の方々のご健勝とご多幸、二本松市の限らない発展を心よりご祈念申し上げます。議会を代表しての新年のごあいさつといたします。